

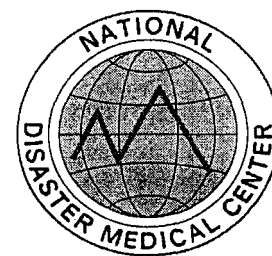
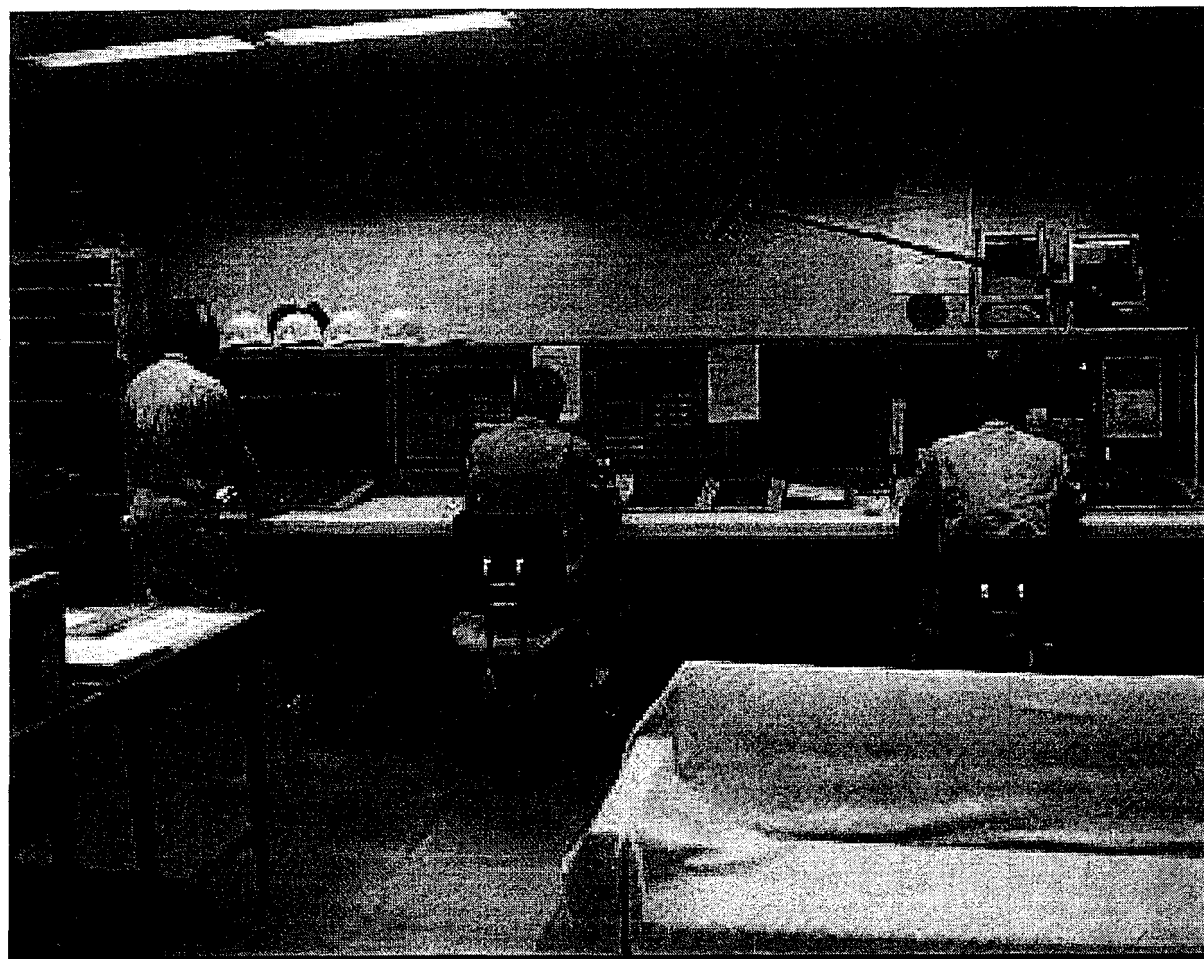
【指導課追加資料】

- 資料（Ⅰ） 4. 救急・災害医療対策について・・・P.62-2 ～ 62-13

- 資料（Ⅰ） 中国冷凍ギョウザが原因と疑われる
健康被害事例について・・・・・・・・・・P.82-2

- 資料（Ⅱ） 22. 補助事業等の適正な執行について・・・P.298-1 ～ 298-3

「緊急地震速報」の試験運用に おける取組みと今後の課題



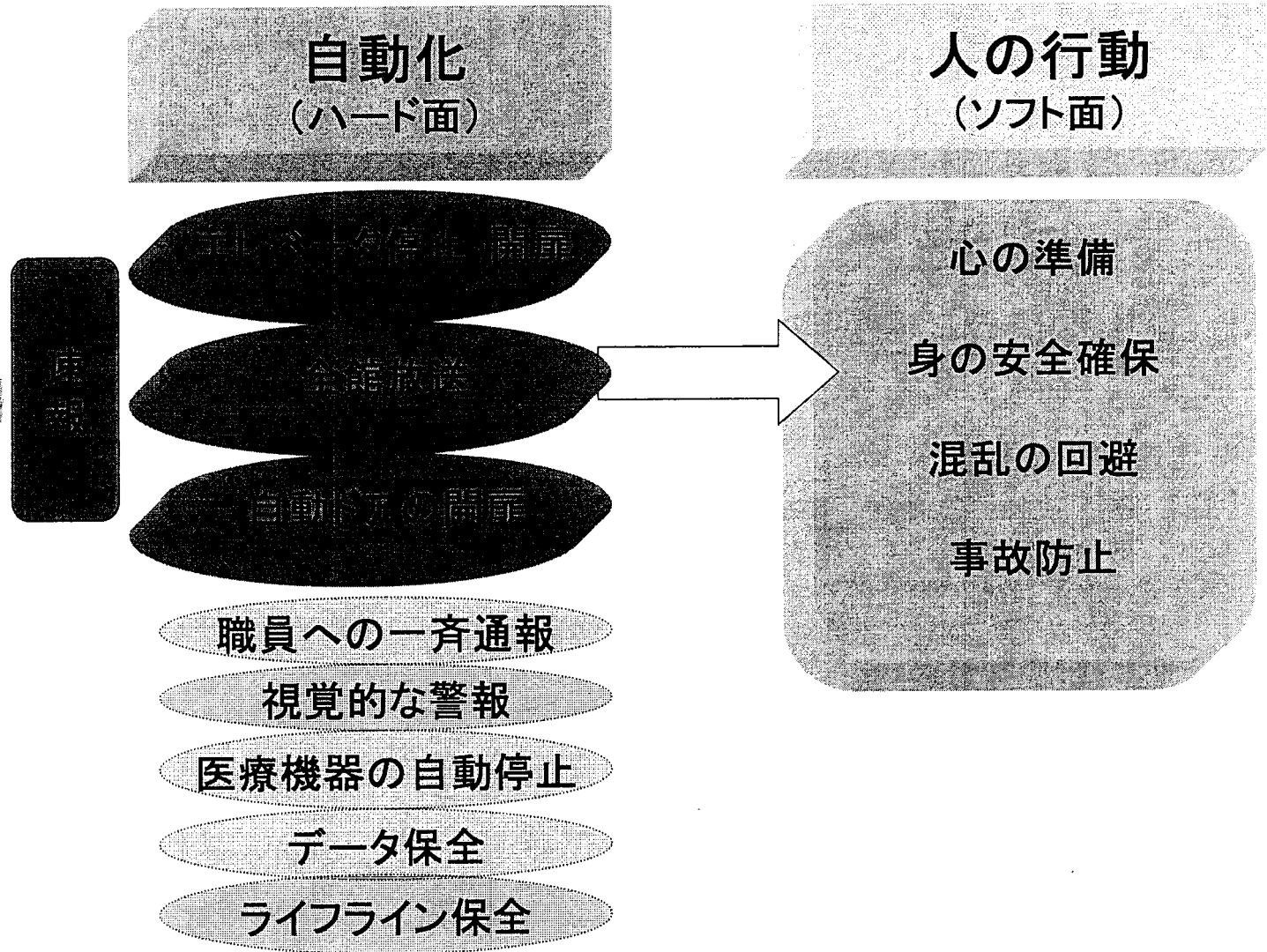
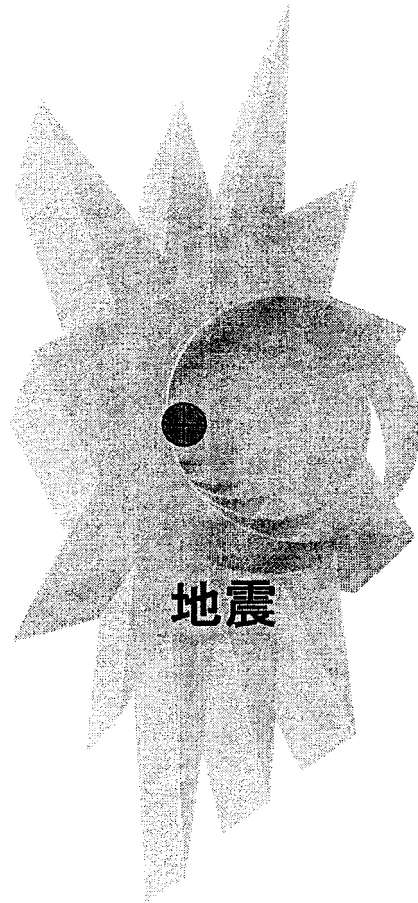
国立病院機構
災害医療センター

地震時における 「病院」の特殊性

- 「病人」という「災害弱者」が入院
 - ・逃げられない
 - ・人工呼吸器、点滴・酸素チューブがはずれる等の危険
- 地震に伴う事故や危険を伴う手術・検査・治療
 - ・人工心肺・透析・放射線検査・治療
- 外来患者・付き添い・見舞いのため多数が出入り
 - ・地震発生時にどんな人がいるか不特定
 - ・地震情報への事前教育・即時対応ができない

揺れるまで(猶予時間・余裕時間) に出来ること

62-4



エレベータ

- エレベータ自体に備えられている感震器(震度5以上で作動)による停止システムとの連動
- カゴ内が暗くなり、地震を知らせる表示・放送
- 最寄り階での停止と開扉で閉じ込め防止

自動ドア開扉(院内31カ所)

- 閉じ込め防止
- 特に手術室など
- 配線工事が大変

設置場所:

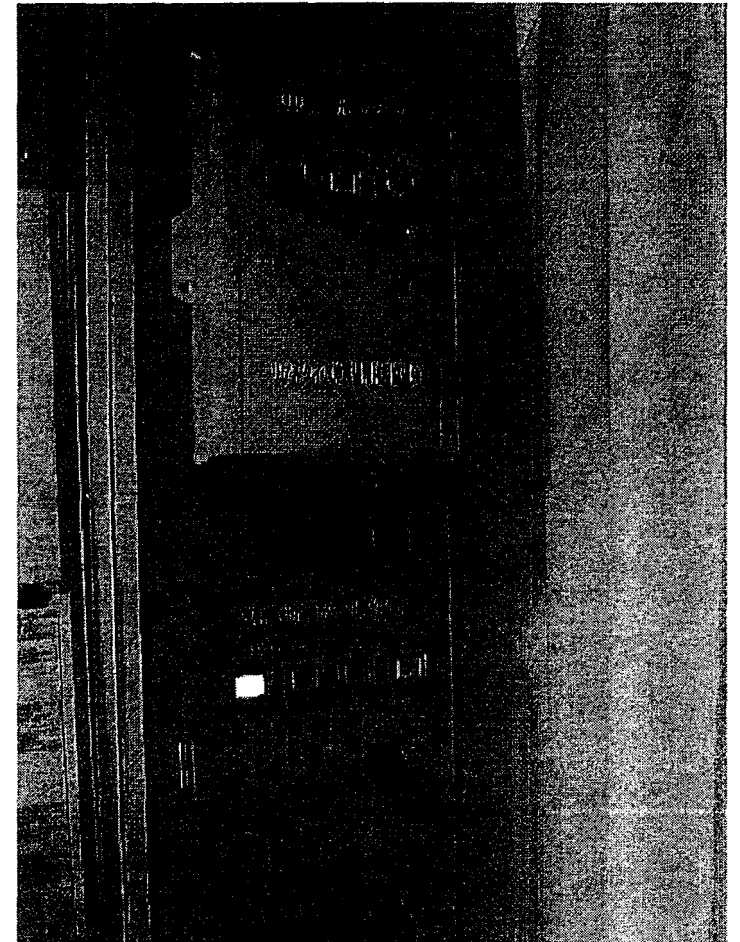
病院正面入口・時間外入口・救急入口
手術室・透析室・放射線検査室、等

院内放送

- 既存の放送設備との接続

通常放送装置
非常放送装置

- 設定値の問題(昼間と夜間)



人の行動

- 行動マニュアル
- マニュアルの周知徹底：訓練

30秒から10秒、10秒から5秒、
5秒から1秒

- ◆ 咄嗟に確実にできることは少ない
- ◆ すべき事に優先度をつけ、限られた時間内に、一つずつ行う
- ◆ 対応簡易マニュアルの作成

特殊部署：手術室・透析室・放射線部門

その他の部署：外来・病棟

人の行動が意味を持つのは、揺れるまでの数秒間！
揺れ始めてからでも遅くない！